

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第 1 項 看護 学部 看護 学科

出身高校名 城星学園高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

理由は3つあります。1つ目はキリスト教の学びの中で看護学を学ぶことができ、また、大学院では助産師の資格取得に挑戦できるからです。2つ目は、女子総合大学であるため、他学部の方と関わることができ、様々な考えに触れられると思ったからです。3つ目は、オープンキャンパスに訪れた際に看護学部の学生の方がとても素敵な方であつたのを覚えたからです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

高校3年間で取り組んできたこと、頑張ってきたことを評価してくださる入試方法だと思いました。AO方式入学者選抜は学力だけでなく、私自身の人間性を見てくださる入試なので、どう自分をアピールするかを考えて入試に挑戦しました。しかし、AO入試のことだけでなく、公募推薦のための勉強もしておいた方が良かったと感じました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校3年間のキリスト教の学びを同志社女子大学でも活かしたいという気持ちでアピール。特に、聖歌隊の副隊長を務め、身につけたリーダーシップやミサで聖歌という祈りを持つ経験をしたということを伝えました。ボランティア活動では、同じ思いを持った人と交流することの大切さを学び、相手に喜んでおられたことで今後何かにしたいという意欲に繋がったことをアピールしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

第1次審査は、書類審査のみなので自分の伝えたいことをきちんと伝えられるように心がけました。国語の先生方に添削していただいたり、課題レポートは、高校のリーダーとお話をしレポートの方向性を決めていきました。(文が長くなりすぎないようにも心がけていました。

〔面接〕

先生に何度も面接の練習をしていただいたり、自分を分析し、1冊のノートにまとめてみたりしました。自分の書いた出願書類の内容を頭に入れ、自分自身の言葉で説明することができるようにも練習しました。笑顔で「はい」と答えるように心がけました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

書類が巧く準備に時間がかかる入試ですが、私にとって自分自身と向き合う良い経験になりました。募集人数が1人ということに不安になるかもしれませんが、支えてくれる先生や家族に感謝の気持ちをもって入試に挑戦してください。書類は失敗したときのために何部か用意しておきましょう。応援しています！